



<http://www.fctokyo.co.jp/>





東京フットボールクラブ株式会社
代表取締役社長
阿久根 謙司

ごあいさつ

平素はFC東京に多大なるご理解、ご声援を賜りありがとうございます。

2014シーズンは9位で終わりました。

課題であった守備の構築という点でリーグ戦失点数が昨年より14点減少し33点となり一定の成果が出たと感じていますが、クラブが掲げる「攻守に支配するFC東京らしいサッカースタイルの確立」は及第点に達することはできませんでした。

確かに攻撃的なサッカーはファン・サポーターのみならず、まにとっては魅力的であると思いますが、やはり勝負事ですので「負けな強さ」というメンタリティを植え付けることも、タイトルを獲りに行くうえで必要不可欠だと感じております。

そういう意味からは、やはり守り切って失点を許さないことを前提として、果敢な攻撃で点を取りに行くことができれば優勝は見えてくると思います。

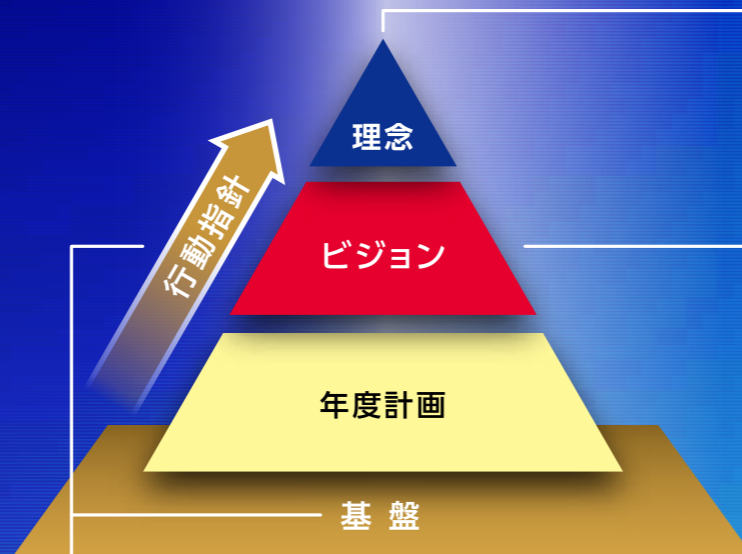
そういった点からもマッシモ フィッカデンティ監督の続投を決定し、2015シーズンは強固な守備から攻撃に転じられるサッカーを構築してまいりたい所存です。

最後に、2015シーズンから2ステージ制が導入されます。

初のリーグ戦タイトル獲得にむけて2年目のマッシモ フィッカデンティ体制のもと、スタートダッシュで勝ち点を積み重ねていきたいと思っております。

今後ともFC東京への変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

クラブ理念



GUIDELINE

2015VISION達成に向けた行動指針と基盤

【行動指針】

「自立」による弛まぬ革新

- 先の読めない時代・変化する状況の中、自ら考え、課題を見出し、具体的対策を立て実行
- そのために、関係するあらゆる人と本音で話せるコミュニケーションを実施

【基盤】

- ステークホルダーとの継続的なコミュニケーション
- 地域性(地域貢献)、社会性(社会貢献)の更なる推進
- 「青赤スピリット」の尊重
青: 洗練された首都東京のイメージ=先進性、先見性、革新性、スタイルッシュ、クール
赤: 伝統ある江戸文化のイメージ=伝統の継承、礼儀・礼節・作法・道徳の継承、江戸っ子気質の継承(粋でいなせ、洒落っ気、義理人情)、熱い情熱
- コスト意識の醸成
- コンプライアンスの徹底
- 「人」を重視する組織運営と全員協力の姿勢
- 環境に配慮した活動

BASIC PHILOSOPHY

FC東京の基本理念

次に掲げる理念の具現化を地域社会・行政・企業の協力体制により組織的に推進し、長期的な視点から真の「都民のための地域密着型Jリーグクラブ」づくりを目指します。

- 1 サッカーを通じて青少年の健全な心身の発達および都民の健康や喜びづくりに寄与し、スポーツ文化の振興ひいては地域社会の発展、国際交流・親善に貢献する。
- 2 将来的には、サッカー以外のスポーツを含め、競技スポーツとレクリエーションの両分野で地域社会に貢献できるような「生涯スポーツ」を視野に入れたクラブを指向し、これをJリーグクラブの組織づくりをベースとし、その発展・拡大により実現していく。
- 3 都民のシンボルとなり、青少年に夢を与える首都東京に相応しいサッカーチームを育て、多くの都民のファンをつくり、都民の連帯感(地域社会への帰属意識)の醸成・地域社会の活性化に寄与する。
- 4 サッカークリニック・サッカースクール・各種イベントを中心に、学校や各地域におけるサッカー活動との連携・協力を図り、青少年をはじめ都民各層に対するサッカーの指導・普及活動に努める。

2015 VISION

FOR NEXT INDEPENDENCE 次なる自立をめざして

- 1 **トップチームに常に選手を輩出する育成体制の確立**
1: 一貫性のある「FC東京新育成プログラム」の策定と運営体制の確立
2: トップチーム、および世界で通用する選手の輩出
- 2 **J1リーグで常に優勝争いのできるクラブづくり**
1: 「自立」し、人間的魅力にあふれ、世界で通用する選手・スタッフの育成体制の構築
2: 攻守に支配するFC東京らしいサッカースタイルの確立
3: リーグ戦制覇(ACL出場)
- 3 **満員のスタジアム、魅力的なスタジアムの実現**
1: 1試合平均ご来場者数30,000人の達成
2: SOCIO12,000人の達成
3: 足を運びたくなるような魅力ある「イベント」や「飲食売店」などによるスタジアムのワンダーランド化
- 4 **「応援」「支援」していただけるファン・サポーターの拡大**
1: クラブサポートメンバー20,000人&80,000口の達成
2: クラブとファン・サポーターとの新たな双方向コミュニケーションの充実
- 5 **サッカーを中心としたスポーツの普及・振興および地域コミュニティの活性化への貢献**
1: 子供たちが「夢」を感じ、「スポーツの楽しさ」に出会い、「自立」を引き出すサッカー普及活動の実現
2: 地域スポーツの普及・振興、そして地域貢献の拠点となる指定管理者業務の拡充
3: 地域コミュニティ組織としてのFC東京・市民スポーツボランティアとの協力体制の確立
4: スタジアムを中心とした周辺エリア(6市)でFC東京と触れ合える活動の毎月1回以上の実施
- 6 **FC東京ブランド価値の向上**
1: 「首都東京にあるプロサッカーチーム」「世界を目指しているクラブ」である知名度および評価の向上
2: グッズ販売チャネルの拡大、首都東京らしいコラボグッズの展開
3: 東京ドロンパの認知度向上と更なる人気向上に向けた施策の展開
4: FC東京の情報発信拠点を23区内に10ヶ所設置
5: クラブ独自の映像製作など新たな情報発信によるクラブブランディング力の向上
- 7 **更なる「総合スポーツクラブ」化へ向けた次のステップへの移行**
1: バレーボールチームに続く、サッカー以外のスポーツなどとの連携の検討
2: バレーボールチームのV・プレミアリーグでの優勝争いと普及活動の拡大

会社概要

会社名

東京フットボールクラブ株式会社 TOKYO FOOTBALL CLUB Co.,Ltd.

創立

1998年10月1日(都民の日)

主な事業

1. プロサッカーチーム「FC東京」(1999年よりJリーグディビジョン2に加盟)の運営
2. サッカースクールおよびサッカーの普及活動
3. チームのオリジナルグッズの製作・販売

所在地

【本社】
〒135-0003
江東区猿江2-15-10

【TEL】03-3635-8985
【FAX】03-3635-8974

【小平グラウンド】
〒187-0001
小平市大沼町3-14-1
東京ガス武蔵野苑内
【TEL】042-342-8950
【FAX】042-342-8973

【味の素スタジアム事務所】
〒182-0032
調布市西町376-3
味の素スタジアム内
【TEL】042-488-6255
【FAX】042-488-6253

資本金

1,092,000,000円
(2015年1月31日時点)

エンブレム



強く、愛されるチームをめざして



FC東京の歩み

東京ガスフットボールクラブを前身に、99年「FC東京」としてJリーグに参入。
以来都民のためのJクラブとして、念願のリーグタイトル獲得を目指しています。

■クラブの歴史

- 1935年 前身である東京ガスフットボールクラブが創部。
- 1986年 東京都リーグより関東リーグに昇格。
- 1991年 全国地域リーグ決勝大会で優勝。JSL2部へ昇格を果たす。
- 1992年 JFLに加入。
- 1997年 天皇杯でJリーグ勢を3連破し、準決勝まで進出。
- 1998年 JFL念願の初優勝を飾る。Jリーグディビジョン2 (J2) に参入決定。東京フットボールクラブ株式会社を設立し、東京初のJリーグクラブが誕生。
- 1999年 ヤマザキナビスコカップでベスト4に進出。J2リーグ戦では2位の成績で、1年でJ1昇格を決める。
- 2000年 J1初めてのシーズン。1stステージ6位、2ndステージ8位。総合7位。
- 2001年 東京スタジアム(現 味の素スタジアム)開業。2011VISION発表。
- 2004年 ヤマザキナビスコカップで決勝に進出、浦和レッズにPK戦の末勝利し、念願のクラブ初タイトルを獲得。
- 2008年 クラブ創立10周年を迎える。32節まで優勝の可能性を残すも、J1リーグ6位でシーズン終了。ヤマザキナビスコカップベスト8、天皇杯ベスト4。
- 2009年 ヤマザキナビスコカップで決勝に進出、川崎フロンターレに勝利し、クラブ2つ目のタイトルを獲得。チームマスコット「東京ドロンパ」が登場。
- 2010年 J1リーグ戦で16位となり、J2降格。「2010 Jリーグアウォーズ」の最優秀育成クラブ賞を受賞。
- 2011年 J2リーグ戦で優勝、1年でのJ1復帰。第91回天皇杯で初優勝、AFCチャンピオンズリーグ出場権獲得
- 2013年 リーグ戦8位。天皇杯はベスト4。東京競馬場にて「FC東京フェスティバル2013 presented by 東京ガスライブバル」を開催。CEサパテル(スペイン2部)と業務提携し、プレシーズンマッチを開催。
- 2014年 リーグ戦9位。リーグ戦においてクラブ新記録である14試合負けなし。FIFAワールドカップ2014ブラジルの日本代表に森重選手・権田選手が選出。

■2014年の戦績

順位	チーム名	勝点	勝	引分	敗	得点	失点	得失差
1位	ガンバ大阪	63	19	6	9	59	31	28
2位	浦和レッズ	62	18	8	8	52	32	20
3位	鹿島アントラーズ	60	18	6	10	64	39	25
4位	柏レイソル	60	17	9	8	48	40	8
5位	サガン鳥栖	60	19	3	12	41	33	8
6位	川崎フロンターレ	55	16	7	11	56	43	13
7位	横浜F・マリノス	51	14	9	11	37	29	8
8位	サンフレッチェ広島	50	13	11	10	44	37	7
9位	FC東京	48	12	12	10	47	33	14
10位	名古屋グランパス	48	13	9	12	47	48	-1
11位	ヴィッセル神戸	45	11	12	11	49	50	-1
12位	アルビレックス新潟	44	12	8	14	30	36	-6
13位	ヴァンフォーレ甲府	41	9	14	11	27	31	-4
14位	ベガルタ仙台	38	9	11	14	35	50	-15
15位	清水エスパルス	36	10	6	18	42	60	-18
16位	大宮アルディージャ	35	9	8	17	44	60	-16
17位	セレッソ大阪	31	7	10	17	36	48	-12
18位	徳島ヴォルティス	14	3	5	26	16	74	-58

※大宮、C大阪、徳島がJ2へ降格。2015シーズンからは湘南、松本、山形がJ1昇格

順位	チーム名	1試合平均
1位	浦和レッズ	35,516人
2位	FC東京	25,187人
3位	横浜F・マリノス	23,088人
4位	アルビレックス新潟	22,979人
5位	セレッソ大阪	21,627人

※J1リーグ平均17,240人

回戦	月/日	曜日	対戦相手	スコア	会場
2	7/12	土	ブラウブリッツ秋田	0-8	味の素スタジアム
3	8/20	水	松本山雅FC	0-2	味の素スタジアム
4	9/7	日	清水エスパルス	1-2	味の素スタジアム

※4回戦敗退

節	月/日	曜日	対戦相手	スコア	会場
1	3/19	水	鹿島アントラーズ	0-3	味の素スタジアム
2	4/2	水	ベガルタ仙台	1-1	ユアテックスタジアム仙台
3	4/16	水	ヴィッセル神戸	0-3	ノエビアスタジアム神戸
4	5/21	水	清水エスパルス	2-3	味の素スタジアム
5	5/24	土	ガンバ大阪	1-3	万博記念競技場
6	5/28	水	試合なし	-	-
7	6/1	日	サガン鳥栖	0-2	味の素スタジアム

※2勝1分3敗でAグループ6位となり、予選リーグ敗退



ホームタウンの紹介

チームに出資している三鷹市、府中市、調布市、小平市、西東京市、小金井市の6市をはじめ、東京都全域をホームタウンとし、日々活動しています。

**事務所
アカデミー**

A 東京フットボールクラブ本社
江東区猿江2-15-10
【TEL】03-3635-8985

**FC.TOKYO
U-15 深川**
江東区猿江2-15-10

B FC東京 小平グランド
小平市大沼町3-14-1
東京ガス武蔵野苑内
【TEL】042-342-8950

**FC.TOKYO
U-18**
小平市大沼町3-14-1

C 味の素スタジアム事務所
調布市西町376-3
味の素スタジアム内
【TEL】042-488-6255

D FC.TOKYO
U-15 むさし

スタジアム

C 味の素スタジアム
調布市西町376-3

E 国立競技場
新宿区霞ヶ丘町10

F 指定管理者
上井草スポーツセンター
杉並区上井草3-34-1
【TEL】03-3390-5707

G 指定管理者
小金井市総合体育館
小金井市関野町1-13-1
【TEL】042-386-2120

I フットサル場
FC東京パーク
府中市宮町1-41-2 伊勢丹屋上
【TEL】042-314-1380

H 指定管理者
小金井市栗山公園
健康運動センター
小金井市中町2-21-1
【TEL】042-382-1001

ヤマザキ
ナビスコカップ
初優勝

1999

▲ J2リーグ戦を2位で
終え、J1に昇格

ヤマザキ
ナビスコカップ
優勝 (2回目)

2009

J2リーグ戦優勝でJ1に復帰
▼ 第91回天皇杯初優勝

2011

2014

▲ 2014シーズン

FC.TOKYO

FC東京アカデミー出身者
※2014シーズン在籍選手

梶山 陽平

武藤 嘉紀

丸山 祐市

権田 修一

廣永 遼太郎

原 健太

吉本 一謙

野澤 英之

三田 啓貴



地域イベント



子どもたちに人気のキックターゲットをはじめ、地域イベントを通じてホームタウンのみなさまとふれあうことで、よりよい関係づくりを目指しています。地域の方々からの生のご意見や反応を感じられる貴重な機会でもあります。

REPORT-1

選手商店会巡回



日ごろよりご支援、ご協力いただいている商店会を選手たちが訪問する毎年恒例の「選手商店会巡回」。選手たちから日ごろの感謝を伝えるだけでなく、近隣の子どもたちを集めてのサイン会などを実施した商店会もありました。

REPORT-2

バナーフラッグ



出資している6市やスタジアム周辺地域の街路灯にFC東京のバナーフラッグを掲出しています。今年、府中市では市制施行60周年を祝って限定バナーフラッグで盛り上げました。

REPORT-3

小学校訪問



選手会が企画・実施をしている「小学校訪問」は今年で7年目。地元小学校を訪問した選手たちは、子どもたちと一緒にボールを蹴ったり、仲間の大切さ、夢や目標を持つことの大切さを伝えました。給食の時間は子どもたちからの質問攻めとなりました。

REPORT-4

JAXAとタイアップ



宇宙航空研究開発機構「JAXA」の本社は味の素スタジアムと同じ調布市にあり、「JAXA」とコラボレーションした企画『JAXAと遊ぼう!! ～宇宙・航空を身近に～』を実施。星空観測会や水ロケット、ペーパークラフト製作で宇宙についてたくさんの子どもたちが学びました。

REPORT-5

チラシ配り



ホームゲーム前にスタッフがユニフォームを着て駅頭に立ち試合告知を行います。一人でも多くの方に東京のサッカーをご覧いただきたい、スタジアムを満員にしたいという想いから取り組んでいます。

REPORT-6

東京ヤクルトスワローズとタイアップ



「東京のスポーツを盛り上げよう!」の合言葉のもと、東京に本拠地を置く東京ヤクルトスワローズ(プロ野球)とのタイアップ企画を実施。ホームゲームにはつば九郎も来場。

REPORT-7

FC東京スポーツセミナー



指定管理者として運営に携わる「上井草スポーツセンター」では、毎年、【FC東京スポーツセミナー】を開催。スタッフ帯同バスツアーや、クラブスタッフによるセミナー等を通して、より身近にクラブ・スタッフを感じてもらうための取り組みを行っています。

REPORT-8

6市訪問



チームに出資している三鷹市、府中市、調布市、小平市、西東京市、小金井市の6市を表敬訪問しました。

REPORT-9

FC東京・市民スポーツボランティアとは

FC東京のホームゲーム運営をサポートいただいている「FC東京・市民スポーツボランティア」のみなさん。味の素スタジアムのこけらおとしでもあった、2001年3月10日の1stステージ開幕戦から活動が始まりました。1試合平均約70名、多い試合では100名強の方々にイベントのサポートなど様々なお手伝いをしていただいております。

VOLUNTEER





スタジアム

味の素スタジアム

住所 東京都調布市西町376-3
 電話番号 042-440-0555
 収容人数 49,970人



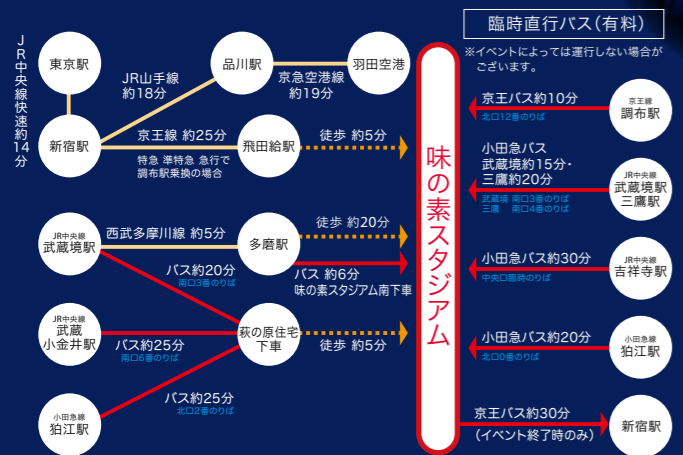
味の素スタジアムアクセス

新宿駅から飛田給駅まで京王線準特急で約18分
 (飛田給駅臨時停車の場合)

■鉄道路線案内



■アクセス別所要時間



スタジアムでは、たくさんのイベントを実施しています。

オリジナルグッズがもらえたり、人気マスコットとのグリーディング など盛りだくさんのイベントを用意してお待ちしています。

【夏まつり】

スタジアムのワンダーランド化を目指し、様々なイベントを実施。
 8月2日清水エスパルス戦では「夏まつり」としてクラブのDJイベントや特設ステージでトークショー、スーパーボールすくいなど様々なイベントを行いました。



2014年度 マッチイベント実施報告

月日(曜日)	対戦相手	イベント名
3/19(水)	鹿島アントラーズ	ナビスコキッズイレブン
4/19(土)	セレッソ大阪	adidas Day
4/29(火祝)	名古屋グランパス	東京商工会議所 Day
5/17(土)	ガンバ大阪	ENEOS Day
5/21(水)	清水エスパルス	ナビスコキッズイレブン
6/1(日)	サガン鳥栖	ナビスコキッズイレブン
7/19(土)	鹿島アントラーズ	AJINOMOTO Day
7/27(日)	ペガルタ仙台	ローソン Day
8/2(土)	清水エスパルス	2014FC東京夏まつり presented by東京ガスライフバル
9/13(土)	ヴィッセル神戸	すき家 Day
9/23(火祝)	徳島ヴォルティス	Teddy Bear Day
9/27(土)	柏レイソル	三菱電機 Day
11/22(土)	アルビレックス新潟	東京都民銀行 Day

【有名人来場】

毎年ホーム開幕戦では、ゲストが来場しスタジアムを盛り上げてくれます。
 今年は志村けんさんがコントを行いました。
 この他に、山口智充さん、土屋アンナさんなど豪華有名人が味の素スタジアムを沸かしてくれました。



【FC東京スタコン】

昨年好評であったFC東京ファン・サポーター同士の素敵な出会いの場として行われたスタジアムコンパ。
 今年は9月27日柏レイソル戦に「はとバス」とタイアップして、バスツアーとして実施。



【青赤横丁】

東京のグルメをとことん楽しんでいただけるように「東京」にこだわった美味しいフードやドリンクを集めた「青赤横丁」を開催。



【来場者数4万人超】

4月セレッソ大阪戦、11月アルビレックス新潟戦で4万人を超える多くのファン・サポーターが来場し、味の素スタジアムを青赤に埋め尽くしました。



FC東京フェスティバル



2月にFC東京フェスティバル presented by東京ガスライフバルを開催。
 昨年に引き続きJRA東京競馬場でシーズン前のイベントを行いました。

2014キッズクラブフェスティバル



7月に2014キッズクラブフェスティバル presented by森ビルを開催。
 約3,000人を超える子供たちと選手が交流しました。
 またバレーボールチームも参加して、イベントを盛り上げてくれました。

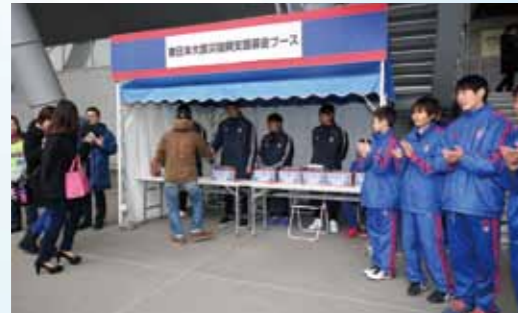
FIFAワールドカップ2選手選出



FIFAワールドカップ2014ブラジルの日本代表に、森重選手と権田選手が選出。

募金活動

東日本大震災復興支援の募金



東日本大震災復興支援の募金活動を行いました。集まった義援金はJリーグを通じて、被災地支援へ寄付させていただきました。

赤い羽根共同募金

東京都共同募金会および共同募金調布地区協力会との協働で「赤い羽根共同募金」を行いました。U-15の育成世代の選手も参加しました。



伊豆大島等台風災害義援金募金

2月のFC東京フェスティバル2014 presented by 東京ガスライブバルでは、伊豆大島等における台風26号災害の復興支援活動として、選手グッズのオークションによる寄付や義援金募金活動を行いました。



広島県大雨災害義援金募金

8月浦和レッズ戦にて 広島市内で発生した土砂災害に対する義援金募金活動を行い、サンフレッチェ広島を通して募金しました。

選手招待シート

トップチーム所属の選手たちが、地域に貢献したいという思いから、福祉施設のみなさまやサッカークラブの少年、少女のお子さまをホームゲームに招待しました。



社会貢献活動

暴力団等排除宣言への協力

Jリーグ関係者および都民等の一層の暴力団排除機運を高めるため、昨年に引き続き警視庁およびJリーグと連携し実施しました。



人権啓発活動への協力

東京都人権啓発活動ネットワーク協議会と連携して、子どもや若者を中心とした年齢層向に人権問題に関して理解を深めるためにPR活動を実施しました。

オレンジリボン(児童虐待防止シンボルマーク)普及啓発活動への協力

東京都福祉保険局少子社会対策部と連携して、オレンジリボン普及啓発活動のPR活動を実施しました。



少年少女観戦送迎バスツアー

東京都内在住の少年少女をバス送迎付きでホームゲームに招待する「少年少女観戦送迎バスツアー」を実施。多くの企業・団体様からCSR(企業の社会的責任)活動の一環としてご協賛いただきながら、子どもたちにサッカーの楽しさを伝え、夢を与えるお手伝いをさせていただいています。



東京都健康づくり推進への協力

東京都が2013年3月に策定した「東京都健康推進プラン21(第二次)」で目指している、都民一人ひとりが負担感なく実践できる生活習慣の改善方法について、健康づくり推進キャラクター「ケンコウデスカマン」が来場。PR活動を実施しました。



ヘルプマークPRへの協力

義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、または妊娠初期の方など援助や配慮を必要としている方々を対象に配布されている「ヘルプマーク」。東京都と協力して普及促進のPR活動を実施しました。

ブラインドサッカー

9月柏レイソル戦にブラインドサッカー日本代表壮行試合を実施。

昨年2020年の東京パラリンピック開催が決定し、その正式競技に「視覚障がい者5人制サッカー(通称:ブラインドサッカー)」がパラリンピック実施予定競技であることから、クラブとしても多くのサッカーファンに知ってもらおう機会として行いました。



ファン・サポーター向け人権研修

9月ヴィッセル神戸戦以降、ファン・サポーターのみなさまを対象に人権研修を実施。「安全で快適なスタジアム」を目指し、差別や挑発、迷惑行為を根絶する啓発活動のみなさんと一っしょに取り組んでいきたいと思えます。



復興支援活動

11月FC東京選手会が東日本大震災の被災地である福島県須賀川市を訪問。地元の子もたちとサッカー教室などで交流しました。



JICAと国際交流

クラブの国際化と社会貢献を目的に、独立行政法人国際協力機構(JICA)と国際交流を開始。



ECO活動

緑の募金

ECO活動の一環で、味の素スタジアムで実施したホームゲームのゴール数だけ東京都緑の募金へ寄付をしています。

リユースカップ、マイ箸

試合時に出る紙コップや割り箸によるゴミの量を減らすため、スタジアム館内では紙コップや割り箸は使用せず、リユースカップやリユース箸を使用しています。またスタッフ・関係者はマイ箸を持参しています。

育成ビジョン

FC東京は、トップチームへの優秀な選手を輩出するために、勝者のメンタリティを兼ね備え自立した選手を育成し、攻守に支配するサッカースタイルを確立します。



選手育成コンセプト

- S** Speed スピード
- P** Personality 人間性
- I** Insight 洞察力・判断力
- R** Race 競争
- I** Independence... 自立
- T** Technique テクニック

サッカースタイル

- A** Attack
ボールと人が考えて動く、攻撃的パスサッカー
- T** Transition
切り替え・ハードワーク
- C** Collective
攻守にプレーが連続
連動したコレクティブなサッカー
- P** Possession
ポゼッション
(ゴールを目指す・シュートで終わる)



夏の全国大会では準々決勝で敗退し、悔しい涙を流した選手たち。その悔しさを糧に高円宮杯 第26回全日本ユース(U-15)サッカー選手権大会では6年ぶり2度目の優勝を飾った。



2014年関東ユース(U-15)サッカーリーグ2部で見事に優勝。来年はU-15深川と同じ1部リーグで戦う。



Jユースカップでは予選リーグから無失点で準決勝まで勝ち進むも終盤に逆転を許し3位で終わる。



8月のadidas CUP 2014では厳しい試合を何度も乗り越え2009年以来の決勝の舞台へ。決勝戦では惜しくも敗れ、準優勝。

サッカーを通じて子供たちに自ら取り組む姿勢を身に付けてほしい!

FC東京では幼児から中学生までを対象としたサッカー・フットサルスクールを開校しています。女子限定や知的障害児向けのスクールも展開し、子供たちにサッカーを通じて、いろんな仲間と関わりながら自ら「考え」「取組み」自分の人生をデザインしていく力を身に付けていけるよう取り組んでおります。

2014シーズン サッカースクールコース



サッカーを通じてスポーツの楽しさを伝え、老若男女問わず気軽にスポーツを楽しめる環境づくりに寄与しています。各地域の行政や学校とも連携・協力を図り、幅広い活動を行っています。



スクール活動

都内20箇所(スタッフ派遣校5校を含む)で開校。2014年からはフットサルスクールも開校し、総勢4,300名のスクール生が在籍してくれました。



キャラバン隊

教育委員会と連携して「キャラバン隊」を実施。小学校へ普及部コーチが巡回しました。サッカーの楽しさを伝える「普及活動」から、生徒や教員自ら考えて行動できるような「自立」体験の場に活用していただけるよう訪問回数を増やしました。



キッズマッチ

味の素スタジアムでの公式戦の前に、プロの選手たちと同じピッチで試合ができる「キッズマッチ」を実施。地元ジュニアチームやスクール生が元気にいっぱいプレーしました。



おとなのサッカー・フットサル教室

「初級」、「中級」、「女性」を対象にしたおとなのサッカー・フットサル教室を開催し、「観るスポーツ」だけではなく、「プレーするスポーツ」としての機会を提供しました。



復興支援

2013年の台風26号における伊豆大島等台風災害復興支援活動の一環として2年連続で開催しました。子供たちとサッカーを通じて楽しい時間を過ごすことができました。



他クラブとのスクール交流戦

関東近郊のJリーグクラブのスクールとの交流戦を開催。ホームだけでなくアウェイにも遠征し、多くのチームとの交流を深めることができました。



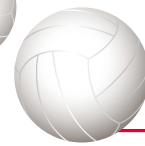
フットサル交流戦

Fリーグチームとの交流戦に府中フットサルスクールが招待いただきました。素晴らしい雰囲気の中、真剣なプレーで会場を盛り上げてくれました。



FC東京エンバイシャドール2014

元選手のルーカス氏が、FC東京エンバイシャドール2014として、各スクールやイベントに参加。



バレーボールチーム

東京ガスバレーボール部を前身とし、1986年地域リーグ(東部)に初参戦。1998年V1リーグに昇格。2003年「FC東京バレーボールチーム」へ移行し、2009年V・チャレンジマッチ(入替戦)に勝利し、V・プレミアリーグ昇格。

活動方針

1 バレーボールを通じた地域貢献

バレーボールを通じて青少年の健全な心身の育成および都民各層の健康や喜びづくりに寄与し、豊かなスポーツ文化の振興に貢献します。

2 バレーボールの普及と発展

バレーボールの競技人口拡大とレベルの向上を図り、生涯スポーツとしてバレーボールを楽しめる環境づくりに努めます。

3 自立した個人の集団の創造

常に勝利を目指す自立したトッププレイヤーの集まりであると同時に、社会人としてそれぞれが持つ仕事・責任を全うする「バレーボールと仕事を両立する集団」のロールモデルとなることを目指します。



普及活動

「バレーボールを楽しむ、もっと好きになる」「チャレンジする」をコンセプトに、FC東京バレーボールチームの選手たちによる「バレーボール教室」を2002年から開催。基本プレーを中心に、子どもたちの世代ごとの発育・発達を考慮した技術指導を行っています。

2014年度は、東京都内の小学生～高校生を対象に8回実施、1,092人が参加しました。また、18歳以上の女性を対象の「駒沢スマイルクラブ」や「小金井バレーボールスクール」、今年度からスタートした「墨田バレーボール教室」など、FC東京バレーボールチーム指導専門スタッフによるレッスンも定期的を実施。その他、指導専門スタッフがチームの練習場へ赴き実地指導をする、出張指導も行っています。



2014年度 バレーボール教室開催報告

開催名称	開催日	場所	参加人数
江東区小学生バレーボール教室	7月21日(月・祝)	江東区スポーツ会館	127人
東京都高校生男子バレーボール教室	7月26日(土)	東京体育館サブアリーナ	55人
第1ブロック中学生バレーボール教室	7月27日(日)	立正大学付属立正中学校・高等学校体育館	235人
第6ブロック中学生バレーボール教室	7月28日(月)	TG深川体育館	143人
杉並区中学生合同部活動バレーボール教室	8月1日(金)	杉並区大宮前体育館	105人
第9ブロック中学生バレーボール教室	8月4日(月)	府中市立府中第六中学校体育館	207人
第3ブロック中学生バレーボール教室	8月5日(火)	中野区立中野中学校体育館	147人
品川区小学生バレーボール教室	8月10日(日)	品川区立小中一貫校日野学園体育館	73人



2013/14シーズンの戦績

2013/14 V・プレミアリーグ男子順位表	
順位	チーム名
1位	パナソニックパンサーズ
2位	JTサンダーズ
3位	堺ブレイザーズ
4位	東レアローズ
5位	豊田合成トフェルサ
6位	サントリーサンバーズ
7位	FC東京
8位	ジェイテクトSTINGS

- 平成25年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会 ベスト8
- 第63回 黒鷲旗 全日本男女選抜大会 ベスト8

練習場



チームマスコット

FC東京のオフィシャルマスコット、東京ドロンパ。その高い身体能力を活かしてピッチ内外でスタジアムを盛り上げます!!

愛称「東京ドロンパ」

1998年10月1日、港区麻布狸穴町(まみあなちょう)で生まれる。六本木と東京タワーのほぼ真ん中に位置する狸穴町、いわゆる生粋の都会っ子である。遊び場はもちろん噴水の素敵な狸穴公園。

知らぬ間にパツと現れ、ドロンといなくなることから、いつしか仲間から「東京ドロンパ」と呼ばれるようになった。東京タワーのそばに棲んでいるドロンパだから、<東京ドロンパ>というわけである。

狸の世界では誰もが認める東京ファンである。そんな彼にオフィシャルマスコット招聘のオファーが届き、チームマスコットとなった。



2014シーズンクラブスポンサー